

## News Release

平成 30 年 10 月 18 日

### 富山県機電工業会による特別講義の開講について

昨年度に引き続き、一般社団法人富山県機電工業会の特別講義(寄附講義)について、今年度後期に、知能ロボット工学科において「知能デザイン工学特別講義2」として開講しますので、ご案内します。

#### 1. 目的

ものづくり産業に携わる企業各社から講師を招いて特別講義を開講し、本県のものづくりの更なる強化に向けて、本県産業の強みであるアルミ、金型、工作機械、電気・電子部品、ソフトウェアの分野において、学生の専門技術理解・実践力向上を目指す。(平成 27 年度から開講。本年度が 4 回目。)

#### 2. 概要

- |             |                            |
|-------------|----------------------------|
| (1) 授業科目名   | 知能デザイン工学特別講義 2             |
| (2) 開講時期    | 平成 30 年度後期                 |
| (3) 開講学科    | 工学部 知能ロボット工学科              |
| (4) 開講年次    | 3 年次生 (知能ロボット工学科 : 約 60 名) |
| (5) 単位数     | 専門科目に位置付け、2 単位を付与          |
| (6) 参画企業・団体 | 13 社・2 団体 (昨年度 13 社・2 団体)  |

#### 3. 講座内容

次項参照 (全 15 回)

#### 4. 講師

富山県機電工業会 会員企業 (次項参照)

#### 富山県機電工業会 会長による講義のお知らせ

日時 : 平成 30 年 10 月 22 日 (月) 10 : 40 ~ 12 : 10  
場所 : 富山県立大学 L-202 講義室 〒939-0398 富山県射水市黒河 5180  
講師 : 富山県機電工業会 会長 <sup>たにかわ まさと</sup> 谷川 正人 (コーセル(株)代表取締役社長)  
内容 : ・特別講義開講の経緯と概要  
・富山県のものづくりの特徴と強み、  
・学生の皆さんに期待すること

※講義内容を報道機関の皆様にご公開いたします。

#### 本件のお問い合わせ先

<公立大学法人 富山県立大学>

担当 : 事務局教務課 野田安宏 電話 : 0766-56-7500 (内線 221)

Mail: y-noda@pu-toyama.ac.jp

<一般社団法人富山県機電工業会>

担当 : 寺田 弥司治 電話 : 076-442-4021

Mail: info@t-kiden.or.jp

一般社団法人 富山県機電工業会特別講義(知能デザイン工学特別講義2) 内容

講義時間(工場見学を除く) 各回14:50~16:20(90分)(10月22日のみ10:40~12:10)

開催場所 富山県立大学 L204講義室(10月22日のみL-202講義室) 住所:射水市黒河5180

回	開講日・曜日		講義内容(講師)
1	H30.10.12	金	アルミ 概論(富山県アルミ産業協会)
2	H30.10.19	金	金型 概論(YKK株式会社)
3	H30.10.22	月	特別講義開講の経緯と概要、富山県のものづくりの特徴と強み、学生の皆さんに期待すること (一般社団法人富山県機電工業会 会長/コーセル株式会社 代表取締役社長 谷川 正人)
4	H30.11.2	金	金型 概論・県内企業の取り組み(アイティオ株式会社、魚岸精機工業株式会社)
5	H30.11.9	金	アルミ 工場見学1 (見学先:三協立山株式会社 射水工場)
6	H30.11.16	金	工作機械 概論・県内企業の取り組み(キタムラ機械株式会社、コマツNTC株式会社)
7	H30.11.30	金	工作機械 工場見学2 (見学先:株式会社不二越 富山事業所)
8	H30.12.7	金	前半グループワーク(学生、講師、OB・OG、関係教員によるディスカッション)
9	H30.12.14	金	電気・電子部品 概論(株式会社日本抵抗器製作所(マイクロジェニックス株式会社))
10	H30.12.21	金	電気・電子部品 工場見学3 (見学先:コーセル株式会社 立山工場)
11	H30.12.26	水	電気・電子部品 県内企業の取り組み(株式会社シキノハイテック)
12	H31.1.4	金	情報産業 概論(北陸コンピュータ・サービス株式会社)
13	H31.1.11	金	情報産業 工場見学4 (見学先:株式会社インテック 万葉スクエア)
14	H31.1.16	水	情報産業 県内企業の取り組み (株式会社日本オープンシステムズ)
15	H31.1.25	金	後半グループワーク(学生、講師、OB・OG、関係教員によるディスカッション)